

ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素より、当社に格段のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期(2015年4月～9月)業績については、売上高は増販、円安に加え、海外子会社業績の連結方法の変更による影響^(注)もあり、前年同期比36.7%増の230億14百万円となりました。損益は、チタン事業の構造改革、機能化学品事業の強化等の取組みの成果をベースに営業利益17億9百万円、経常利益14億88百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益14億39百万円と前年同期の赤字から黒字に転換いたしました。

前連結会計年度の第3四半期から4四半期連続して利益を計上し、2016年3月期の通期連結業績においても純損益黒字化を見込んでおります。

配当につきましても、中間配当は見送りますが、期末配当は3期ぶりに復配し、1株当たり5円とすることを予定しております。

今後ともチタン及び機能化学品事業の改革・改善をさらに進めるとともに、サウジアラビア合弁事業などの成長戦略を展開することにより、収益基盤を拡充してまいります。

当社及び当社グループの未来を切り開くべく全力を尽くしてまいりますので、何卒、皆様の変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2015年12月

東邦チタニウム株式会社

代表取締役社長 加賀美 和夫

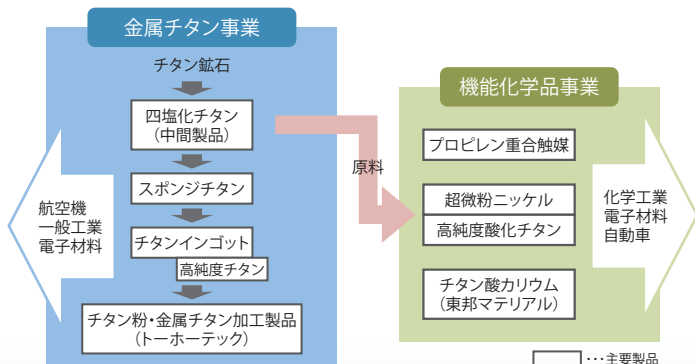


■ 売上高	230億14百万円
■ 営業利益	17億 9百万円
■ 経常利益	14億88百万円
■ 親会社株主に帰属 する四半期純利益	14億39百万円

(注) 決算日が12月31日である海外子会社については、当社グループの業績をより適切に開示するために、2016年3月期第1四半期より四半期決算日現在で仮決算を行い連結する方法に変更いたしました。これに伴い、当該子会社の業績については、2015年1月1日から9月30日までの9ヵ月間の業績を連結しております。このうち、2015年1月1日から3月31日までの売上高は19億19百万円、営業利益は52百万円、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益はそれぞれ84百万円であります。

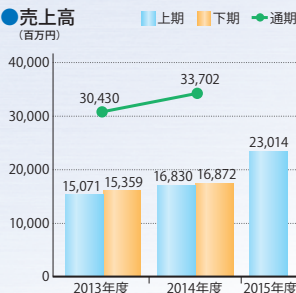
■社名	東邦チタニウム株式会社
■生産拠点	茅ヶ崎工場、若松工場、八幡工場、日立工場、黒部工場
■資本金	119億63百万円
■従業員数(連結)	932名
■事業年度	4月1日から3月31日まで
■定時株主総会	6月
■単元株式数	100株
■上場証券取引所	東証第一部

事業概要

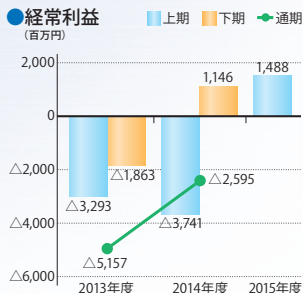


財務ハイライト

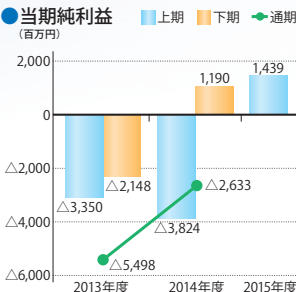
●売上高
(百万円)



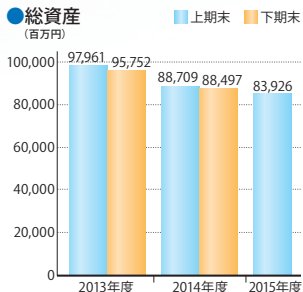
●経常利益
(百万円)



●当期純利益
(百万円)



●総資産
(百万円)



業績予想

(単位:百万円)

	2014年度実績	2015年度予想	差異
売上高	33,702	43,000	(○) 9,298
営業利益	△2,638	3,300	(○) 5,938
経常利益	△2,595	3,300	(○) 5,895
親会社株主に帰属する当期純利益	△2,633	3,400	(○) 6,033

※なお、上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

サウジアラビア合併事業の進捗

サウジアラビアでのスポンジチタン製造合併事業では、現地における本年5月の工場建設着工後、計画通り順調に工事が進行しております。土地造成工事に続き、建造物の建設や設備機器の搬入・据付けも始まりました。当社社員も工事管理の担当者を中心に現地に赴任し業務を開始しました。工事は2017年5月の完成を予定しております。

また、現地工場の操業に従事することとなるサウジアラビア人の育成に関しては、本年3月に来日した第一陣に続いて10月には第二陣が来日しました。総勢約70名のサウジアラビア人研修生が現地工場の操業を担えるよう、引き続き全社を挙げて教育・育成に取り組んでまいります。



サウジアラビアで進む工場建設

株主通信 第85期(2016年3月期) 中間
(2015年4月1日～2015年9月30日)



東邦チタニウム株式会社

神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎三丁目3番5号

株主名簿管理人 三井住友信託銀行

同 連 絡 先 三井住友信託銀行 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
フリーダイヤル 0120-782-031